

酸分解対応 DigiTUBEs 洗浄方法例

ジーエルサイエンス株式会社

DigiTUBEs をご使用になる際、洗浄方法に関して以下の 2 例を推奨いたします。

1. 洗浄例 1 (簡易的な方法)

ICP 発光分析、原子吸光分析などで DigiTUBEs をご利用の際におすすめの方法です。

<洗浄液>

1M 程度の希硝酸、希塩酸、イオン交換水もしくは超純水

<洗浄方法>

- ①使用する直前に容量の 1/3 程度の洗浄液をチューブへ入れる。
- ②DigiTUBEs 専用のキャップをしっかり締めて、振とう操作を行う。

* 振とう操作による洗浄時間は、検出濃度領域に依存します。あらかじめ予備試験を行い、30 秒～2 分程度の範囲で最適な洗浄方法を検討する。

2. 洗浄例 2

微量分析 (ICP-MS) で DigiTUBEs をご利用の際におすすめの方法です。

<洗浄液>

・器具浸漬洗浄用洗剤液、・酸 (希硝酸、希塩酸)、・イオン交換水、・超純水

<洗浄方法>

- ①器具浸漬洗浄用洗剤液にて浸漬含浸洗浄を行う。
 - * 洗剤濃度 5% 程度、漬け置き時間は一晚～丸一日程度目安
- ② ①で使用した洗浄液をイオン交換水もしくは超純水ですすぐ。
 - * 洗剤を流水で十分に洗い流す。
- ③加熱分解の溶出レベルを想定して 2M 程度の硝酸溶液、塩酸溶液で含浸浸漬洗浄を行う。
 - * 漬け置きは、室温で 3～5 日間程度
- ④超純水ですすぐ。
 - * 洗浄に用いた酸溶液が残らないよう、十分に洗浄
 - * 洗浄後は、すぐに分析用容器として使用可能

<保管例>

- * きれいな空気環境下 (HEPA フィルターを通した空気など) で風乾保管
- * 風乾後、チャック付のビニール袋等で包装、プラスチック製コンテナなどに保管

技術的問い合わせ先

ジーエルサイエンス(株) カスタマーサポートセンター

以 上